



平成 22 年 11 月 5 日

各 位

会社名 株式会社 フェヴリナ
 代表者名 代表取締役社長 遠藤 英樹
 (コード番号 3726 東証マザーズ)
 問合せ先 Accounting & Finance Division
 Senior Manager 堀川 大輔
 (TEL. 092-720-5420)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A)	1,209	△48	△49	△51
今回発表予想 (B)	1,025	△14	△14	△64
増減額 (B - A)	△184	34	35	△13
増減率 (%)	△15.2	—	—	—
(ご参考) 平成 22 年第 2 四半期累計期間	1,292	99	100	58

2. 平成 23 年 3 月期通期 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	2,790	113	110	107
今回発表予想 (B)	2,176	41	41	0
増減額 (B - A)	△614	△72	△69	△107
増減率 (%)	△22.0	△63.7	△62.7	—
(ご参考) 平成 22 年 3 月期	2,489	189	190	131

3. 平成 23 年 3 月期 第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正理由

当第 2 四半期累計期間の業績予想数値につきましては、前事業年度より引き続き消費マインドの低迷と買い控えにより、新規顧客獲得数、売上高ともに厳しく見込んでおりました。その一方で、広告宣伝費および準固定費の削減を進め、利益率の回復に努めてまいりました。

売上高に関しましては、受注件数が低調に推移し、期初に想定した売上高を確保できず、予想数値を 184 百万円下回る 1,025 百万円となる見込みであります。利益面に関しましては、費用の削減効果により、売上総利益の減少を吸収した結果、営業損失 14 百万円、経常損失 14 百万円となる見込みであります。

また、当期の業績推移に鑑み、繰延税金資産の回収可能性につきまして慎重に検討しました結果、当該繰延税金資産を取り崩すとともに、法人税等調整額 47 百万円を計上することで、四半期純損失は 64 百万円となる見込みであります。

以上の理由により、平成 22 年 5 月 14 日に公表いたしました当第 2 四半期累計期間の業績予想数値を修正いたします。

4. 平成 23 年 3 月期 通期業績予想数値の修正理由

当社が属する化粧品通販業界は、異業種からの新規参入と大手化粧品メーカーからの通販業界参入が際立ち、それにとまなう低価格化とコストパフォーマンスの両方において競争が激しい傾向にあります。また、需要面におきましては、消費マインドの低迷に加え、消費者の節約志向と生活防衛意識が高まるなど厳しい状況が続くものと予想されます。

これら外部要因と当第 2 四半期累計期間までの売上予想推移を勘案し、業績予想の再構築を行った結果、通期の売上高は 2,176 百万円となる見込みであります。また、利益面に関しましては、売上高の伸び悩みに伴う利益率悪化を補えず、従前の予想を下回る見込みとなります。

以上の理由により、平成 22 年 5 月 14 日に公表いたしました通期業績予想数値を修正いたします。

- ※ 上記の予想は、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。また、当該予想数値に関しましては監査法人の監査を受けていない数値ですので、決算数字とずれが生じる可能性があります。

以 上